

2016年 CLT を用いた建築物の設計施工マニュアル
 (第1版2刷、H30.11)に添付した参考資料 (DVD 第I部第1章 1.1 構造設計例1)

正誤表 R2.12.1

番号	ページ	項目 (表名称)	誤	正
1	I-8-18	■ 壁パネル幅 1455mm 設計条件	壁パネル鉛直荷重 N=72.3kN	壁パネル鉛直荷重 N=74.73kN
2		速度圧	1034	922
3		応力検定用分布荷重 w	1.81	1.61
4		圧縮の検討	N=72300N	N=74730N
5			$s\sigma_c=0.55$	$s\sigma_c=0.57$
6			検定比=0.27	検定比=0.28
7		面外曲げの検定	M=1632974	M=1456095
8			$s\sigma_b=0.83$	$s\sigma_b=0.74$
9			面外 Fb=10.8	面外 Fb=12.67
10			sfb=7.2	sfb=8.4
11			検定比=0.12	検定比=0.09
12		面外せん断の検定	Q=2428	Q=2165
13		圧縮+曲げ検定比	0.39	0.37
14	I-8-19	■ 壁パネル幅 910mm 設計条件	壁パネル鉛直荷重 N=57.92kN	壁パネル鉛直荷重 N=59.59kN
15		速度圧	1034	922
16		応力検定用分布荷重 w	1.13	1.01
17		圧縮の検討	N=57920N	N=59590N
18			$s\sigma_c=0.71$	$s\sigma_c=0.73$
19			検定比=0.35	検定比=0.36
20		面外曲げの検定	M=1021310	M=910685
21			$s\sigma_b=0.83$	$s\sigma_b=0.74$

22			面外 Fb=10.8	面外 Fb=12.67
23			sfb=7.2	sfb=8.4
24			検定比=0.12	検定比=0.09
25		面外せん断の 検定	Q=1519	Q=1354
26		圧縮+曲げ検定 比	0.47	0.45
27	I-8- 21	設計条件	荷重条件 長期荷重 時	荷重条件 短期荷重時
28		設計条件	検定箇所 1F wx2-1	検定箇所 1F wy1-1